

# 地方公共団体における 地域幸福度（Well-Being）指標の 活用推進について

2023年（令和5年）12月13日

第4回デジタル田園都市国家構想実現に向けた地域幸福度（Well-Being）指標の活用促進に関する検討会

## デジタル庁

# 地域幸福度（Well-Being）指標利活用拡大に向けた取組について

- 令和4年度に開発・整備を行った地域幸福度（Well-Being）指標を改めて整理し、デジタル田園都市国家構想交付金Type2/3採択団体を中心に、その指標の利活用、結果の報告、ワークショップの実施などを進めている。
- 令和5年度はデジタル田園都市国家構想交付金Type2/3採択団体職員に加え、その他自治体職員や事業者、団体職員もターゲットに幅広く事業を展開し、本指標の活用を60以上の自治体に広げることができた。

## 令和5年度取組概要

### ツール

- 地域幸福度（Well-Being）指標（客観指標・主観指標）
- 地域幸福度（Well-Being）指標サイト P.4
- 利活用ガイドブック・分析ツール

### 普及促進

- モデルワークショップ開催（全国4都市開催中） P.5
- オンラインワークショップ型研修（全6回） P.13
- 地域幸福度（Well-Being）指標1Dayセミナー（全国4都市開催中） P.14
- 地域幸福度（Well-Being）指標活用解説動画 P.15
- 相談窓口の開設

### ターゲット

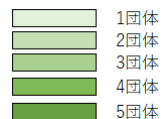
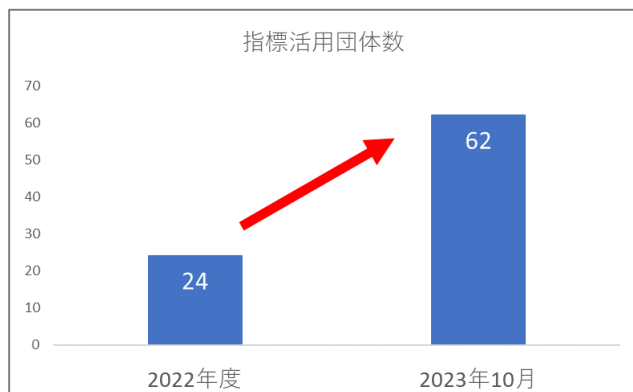
- デジ田交付金Type2/3採択団体職員
- デジ田交付金Type2/3採択団体以外の地方公共団体職員
- 事業者
- 各種団体職員

# 都道府県別Well-Being指標活用団体

2023.10月末現在

- 地域幸福度（Well-Being）指標活用団体はType2/3採択団体以外の団体にも拡大。

【都道府県別活用団体数】



【活用自治体62団体】

都道府県	数	活用団体（黒字：Type2/3採択団体, 青字：Type2/3採択団体以外）
北海道	3	札幌市 江別市 更別村
宮城県	1	仙台市
福島県	4	福島県 会津若松市 矢吹町 平田村
茨城県	1	境町
栃木県	1	那須塩原市
群馬県	1	前橋市
埼玉県	4	熊谷市 秩父市 横瀬町 三芳町
千葉県	1	千葉市
東京都	5	東村山市 狛江市 渋谷区（スマートシティ推進機構） 世田谷区 国立市
神奈川県	3	横浜市 小田原市 鎌倉市
富山県	2	朝日町 黒部市
石川県	2	石川県 能美市
山梨県	1	山梨県
長野県	1	茅野市
岐阜県	3	岐阜県 岐阜市 養老町
静岡県	4	浜松市 三島市 焼津市 磐田市
三重県	1	三重県広域連携（多気町・大台町・明和町・度合町・紀北町）
京都府	1	京都府
大阪府	2	大阪府 豊能町
兵庫県	4	姫路市 加古川市 加西市 養父市
奈良県	1	奈良県
鳥取県	1	鳥取県
岡山県	3	津山市 西粟倉村 吉備中央町
広島県	2	広島県 東広島市
山口県	3	下関市 山口市 山口県
香川県	2	高松市 三豊市
愛媛県	2	愛媛県 西条市
福岡県	1	粕屋町
佐賀県	1	佐賀市
宮崎県	1	延岡市

出所：デジタル庁資料及びスマートシティ・インスティテュート資料からデジタル庁が作成

# Well-Being指標 新サイトのリリース

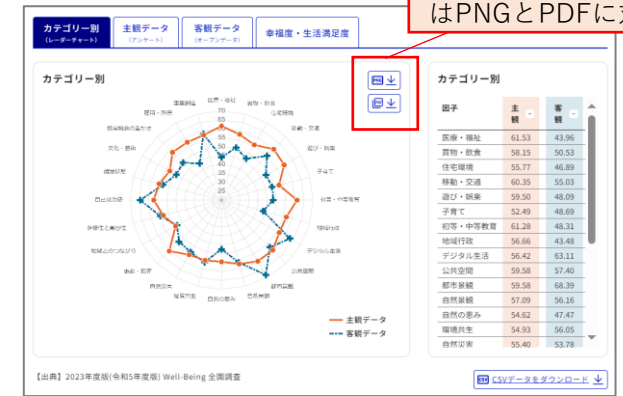
- これまで**地域幸福度（Well-Being）指標を使ったことのない人にも簡単に、よりわかりやすく**、新たにサイトをリリースする。
- 新サイトは**スマートフォンからもグラフやデータを確認しやすく**するとともに、よくある質問も新たに掲載。ガイドブック・動画もリニューアルして掲載する。
- 新サイトは、2024年1月にβ版、3月に正式版をリリース予定。

## ○ダッシュボード

自治体・調査種別・調査年度を同一画面で切替可能に



グラフダウンロードはPNGとPDFに対応



スマートフォンでも指標が見やすくなります



## 【主な変更点】

**ダッシュボードページ**：自治体・調査種別・調査年度が1つの画面内で切替可能。比較したい自治体のグラフを5つまで並べて表示でき、各グラフがPNGとPDFでダウンロード可能になる。

**マイページ機能の追加**：比較地域をお気に入り登録することにより、繰り返しの確認がしやすくなる。アンケート調査結果ファイルのアップロードが可能になる。（正式版リリース時）

# モデルワークショップ開催支援・情報の公開

- 各自治体が実施する「モデルワークショップ」を計4回開催、市民の巻き込みのための地域幸福度（Well-Being）指標活用ワークショップ開催を支援する。
- 今後、ワークショップを実施する団体が参照可能となるよう、「モデルワークショップ」で使用した資料や実施状況の紹介動画等を公開する。

## ● 小田原市での開催状況



### 【プログラム】

1.	開会・進行の説明	5分	小田原市
2.	WS実施の背景説明	10分	小田原市
3.	ご挨拶	20分	デジタル庁
4.	Well-Beingについて	60分	メインファシリテーター
5.	グループワーク	100分	ファシリテーター
	アイスブレイク	(5分)	
	ワークショップ	(80分)	
	各グループの発表	(15分)	
6.	講評	15分	メインファシリテーター
7.	事務連絡	5分	小田原市

出所：小田原市

## ● 開催日程（予定含む）

	開催日時	主催者 会場	参加者等	参加 人数
第1回	2023年12月6日 (水) 13:30～17:00	小田原市 小田原市民交流 センター-UMECO	・自治体職員 ・デジタルイノベーション 協議会会員企業	20人
第2回	2024年2月9日 (金) 13:30～16:30 (10:00～12:00講 義あり)	石川県 金沢港クルーズター ミナル セミナールーム・会議 室	・石川県職員 ・加賀市、能美市、珠 洲市職員 ・市民（県関係者）	30人 程度
第3回	2024年2月18日 (日)	前橋市 共愛学園前橋 国際大学 KYOAI COMMUNITY HALL	調整中	30人 程度
第4回	2024年3月3日 (日)	東広島市 広島大学フェニッ クス国際センター MIRAI CREA	・地元JC、Town & Gown関係者等	30人 程度

# Well-Being指標とロジックツリーは社会的課題の解決に向けた車の両輪

## Well-Being指標

- Well-Beingを計測する指標・環境の整備  
⇒ WB指標サイトの開発と普及
- WB指標を活用したワークショップと、地域の社会的課題を特定しコンセンサスを作るノウハウの開拓
- ノウハウの実践を通じた市民、事業者の巻き込み  
⇒ ワorkshop手法の開発と実践の普及

明確なビジョン

Well-Being指標

ロジックツリー

Finance

課題と合意

課題と合意

課題と合意

行動と施策

行動と施策

行動と施策

数値による検証

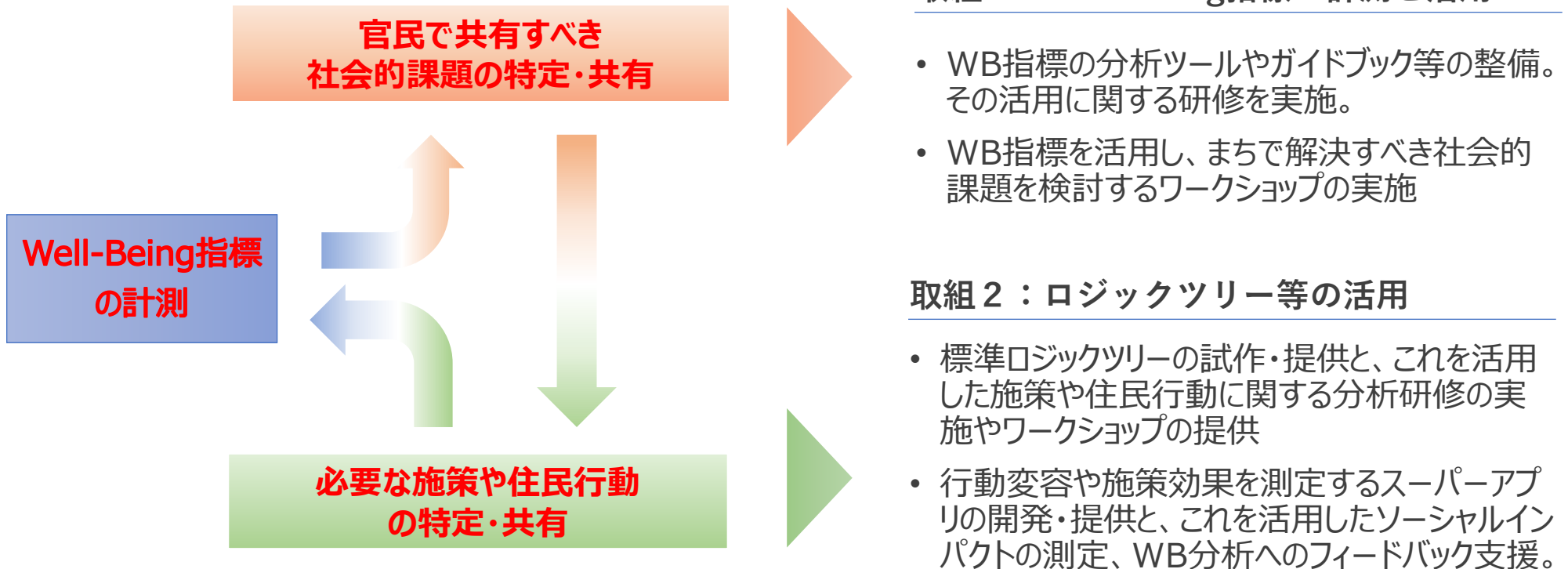
ロジックツリー

社会的課題  
の解決

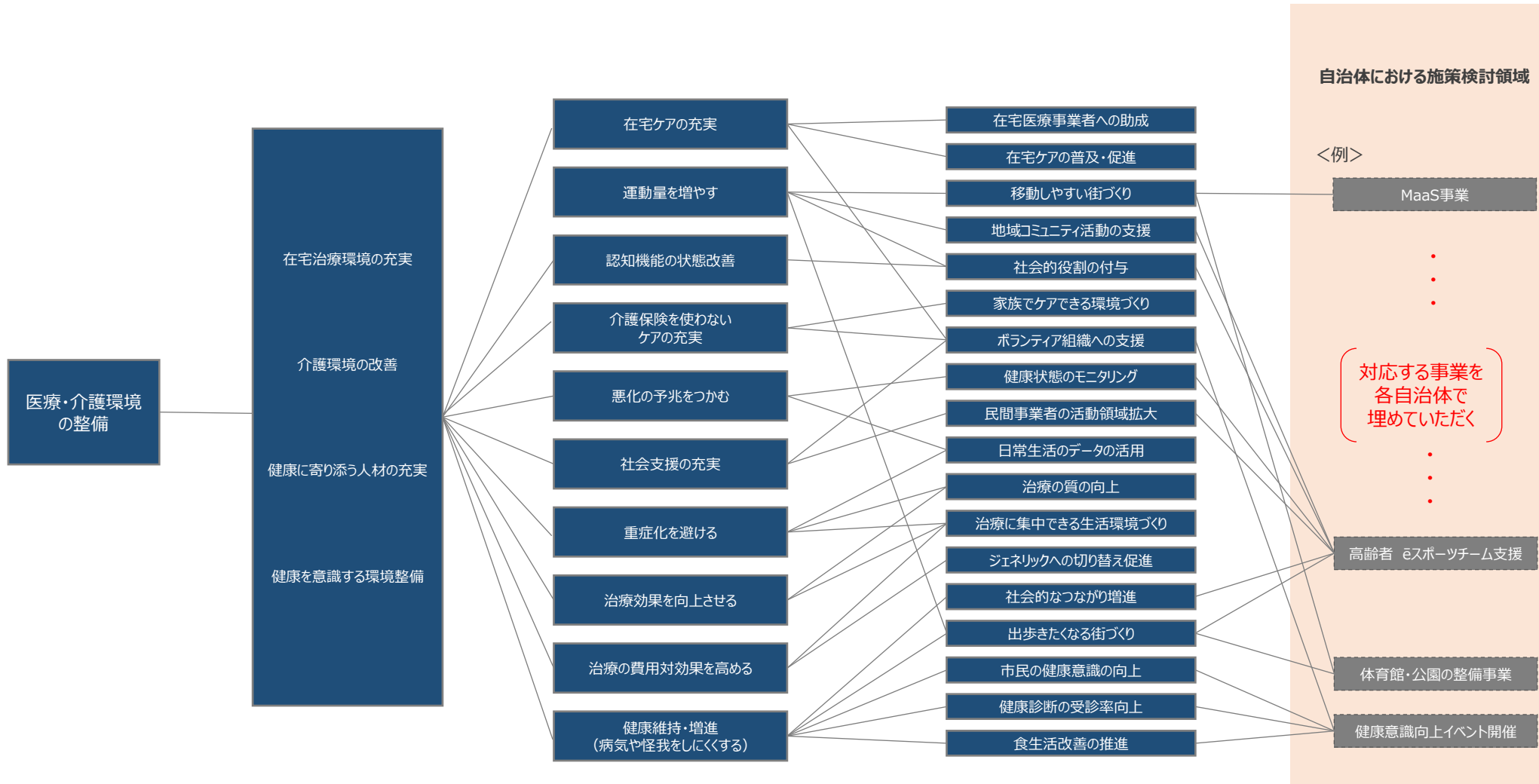
- 地域の社会的課題解決に導く行動の特定  
⇒ ロジックツリーの作成手法の開発
- 特定された行動を誘発する施策の実施  
⇒ ex.ポイントインセンティブなど
- 施策の行動誘発効果を検証するデジタル基盤  
⇒ 行動履歴を捕捉できるアプリの開発

# 指標と標準ロジックツリーの2 StepでWell-Beingの向上を加速

- これまで地域幸福度（Well-Being）指標の分析やワークショップを進め、地域の社会的課題を特定しコンセンサスを作る取組を推進してきた。これにより本年度の本指標活用団体は約60団体と増加している。
- 他方、特定された社会的課題を解決に導くための住民等の行動や施策の特定に繋げるには、もう1段階踏み込んだ分析が必要。具体的には、当該課題の解決と、行動や施策をつなげることが必要であり、ロジックツリーの手法が適合しているのではないか。
- とはいえ、ゼロからロジックツリーを作成することは難しいため、デジタル庁で標準的なロジックツリーを示し、それをたたき台に、社会的課題と、それを解決するための行動や施策の特定を結びつける作業をしてもらうこととしてはどうか。
- 同時に、ロジックツリーの各項目を計測するために必要な手段（スーパーアプリなど）も用意し、取組のインパクトを明らかにできる基盤を整えることによって、社会的投資の加速などにもつなげていってはどうか。



# 【参考】標準ロジックツリー (案) 【医療・介護環境の整備】

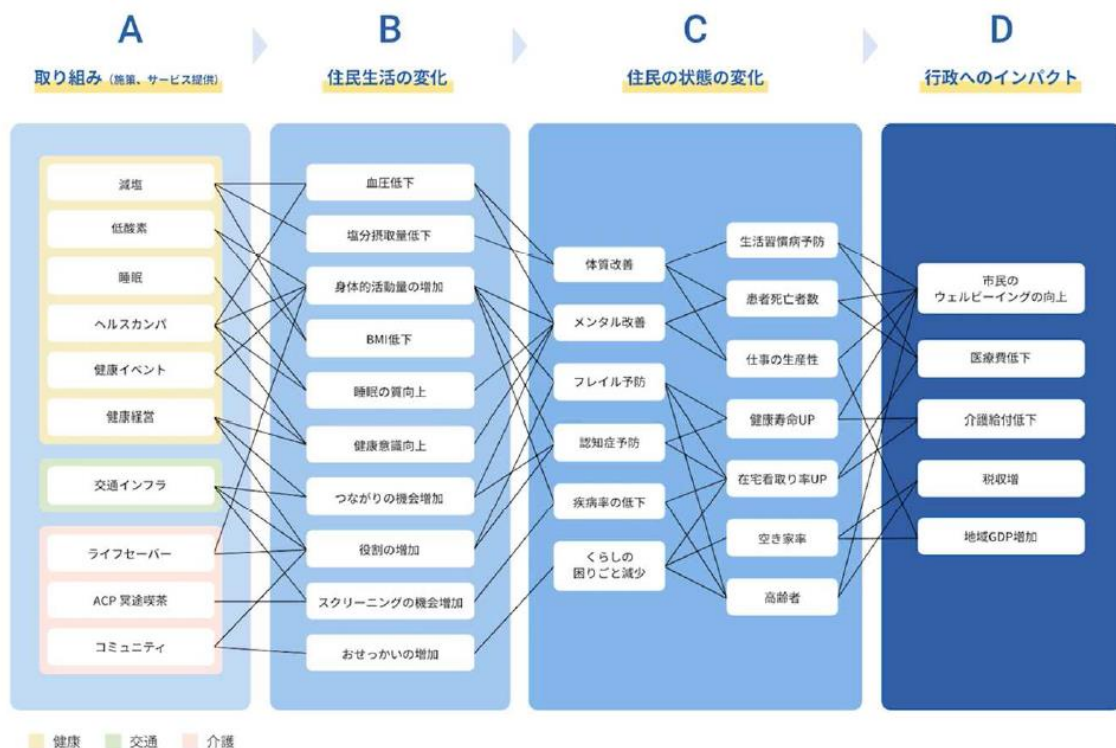




# Well-Being向上のための三豊市の取り組み

●□ジックツリーを作成し、市民のWell-being向上のために必要な「取組み」と「効果」を可視化

●市民や企業が、三豊の目指す「将来のありたい姿」と、それを実現する取組みを確認できる**三豊未来マップ**を作成



# これまでの取組を踏まえた本日の議論ポイント

## ■ ワークショップ実施支援

共助を促進するためのワークショップ開催支援について、どのように改善を進めていくべきか。

## ■ 地域幸福度（Well-Being）指標を扱える人材の育成

指標活用の更なる促進に向け、指標の政策への活用やワークショップファシリテーションができる人材の育成をどう進めていくべきか。

## ■ 標準ロジックツリー

標準ロジックツリーはどのように在るべきか。標準ロジックツリーの活用に関する自治体支援をどう進めていくべきか。

## ■ 複数自治体にまたがるエリアへの対応

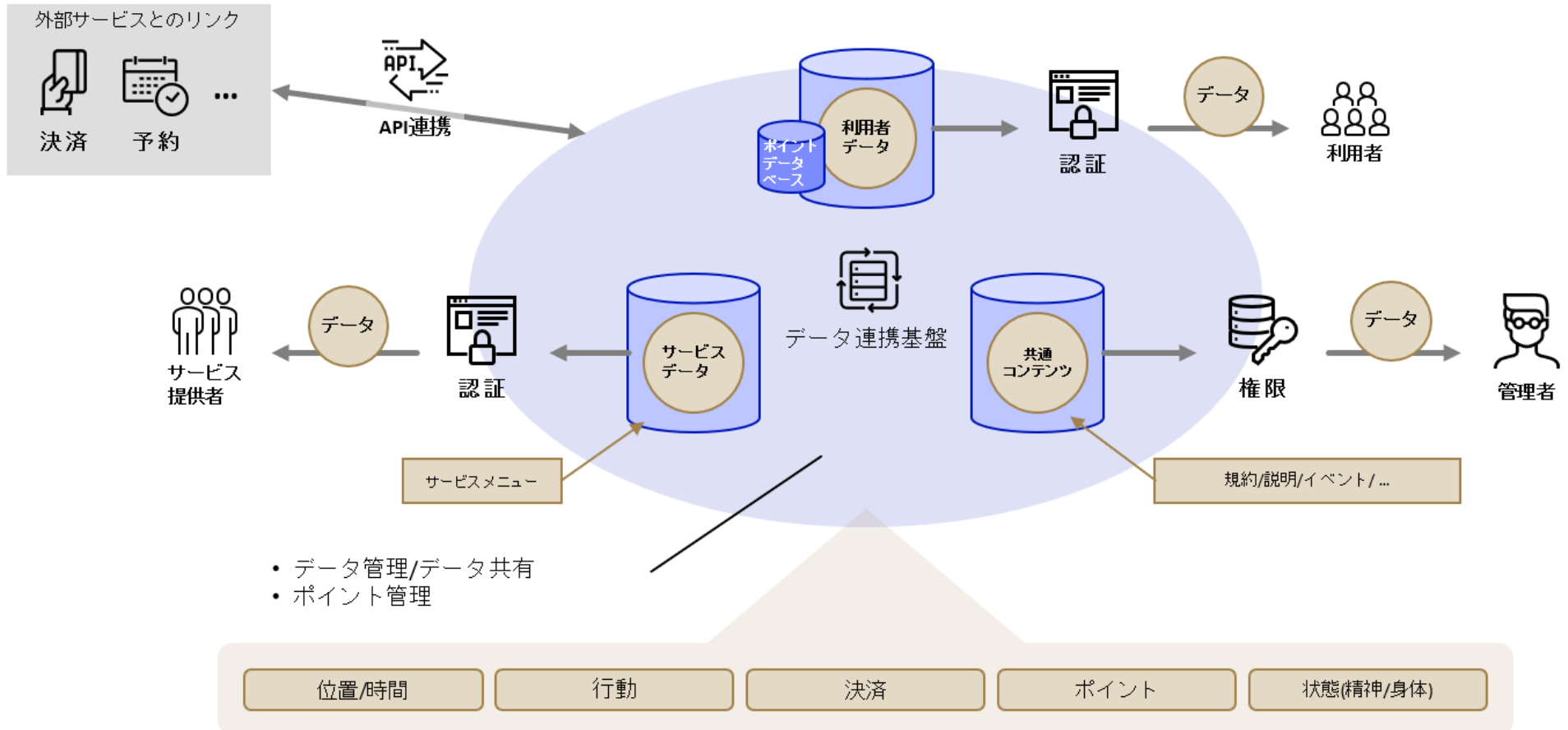
複数の自治体エリアにまたがる指標の活用に向け、計測や分析をどのように進めるべきか。

## ■ 提供データの改善

小規模自治体データについてどのように改善を進めていくべきか。

# (参考) スーパーアプリのアーキテクチャ (案)

- 地域幸福度 (Well-Being) 指標の活用により明らかになった社会的課題に対応する、住民の行動の変容を促す政策がもたらした社会的インパクトを計測するためのデジタル基盤の構築を検討する。



# Appendix

# (参考) オンラインワークショップ型研修

- 目的：地域幸福度（Well-Being）指標の理解と活用方法の習得の支援
- 対象者：デジタル田園都市国家構想交付金Type2/3採択団体等複数サービスを提供する自治体の職員
- 内容：
  - ①全体像理解編 指標の基礎知識、データが掲載されたダッシュボードの利用方法の学習を通して指標の活用方法を実感する。（3時間の研修）
  - ②指標活用実践編 実在のデータを題材として、地域幸福度（Well-Being）指標から自治体の特徴を分析し、課題解決を目指しての進め方を体感する。（3時間の研修）

## ○開催実績（令和5年度）

### ● 全体像理解編

**デジタル庁 WB指標自治体研修**

東京大学公共政策大学院教授  
 東京大学ウエルビーイング研究ユニット長  
 デジタル庁地域幸福度(Well-Being)指標の活用促進に関する検討会  
 自民党ウエルビーイング特命計画委員会アドバイザーボード座長  
 ウエルビーイング学会副代表理事  
 元文部科学副大臣・前文部科学大臣補佐官  
**鈴木寛**

- 研修ではオンラインホワイトボードを使い、全国の自治体職員が協調作業で指標への理解を深めた。

**1-1 テンプレートをつかって自分のまちの特徴をまとめる（6分）**

（個人ワーク） 値の高い因子の評価を青い付箋に記載し（「客観的健康状態が高い」など）、「サマリー」の箱に貼る。同様に、低い値の因子の評価を赤い付箋に記載し貼る。（時間があれば）主観と客観の間に差がある因子を紫の付箋に記載して貼る。

	開催日	テーマ	内容・講師等	参加者数
第1回	2023/7/4	全体像理解編	【内容】 ・指標の理解を深めるための講義 ・指標活用ダッシュボード説明、ダッシュボード活用体験 【講師】 スマートシティ・インスティテュート専務理事 南雲岳彦氏 東京大学公共政策外学院教授 鈴木寛氏 他	81人
第2回	2023/7/5			
第3回	2023/7/12	指標活用実践編	【内容】 ・指標を活用した分析例や活用事例の説明 ・指標活用分析の実践 ・グループワークによる気づきの共有 ・質疑応答 【講師】 スマートシティ・インスティテュート専務理事 南雲岳彦氏 他	46人
第4回	2023/7/19			
第5回	2023/7/21			
第6回	2023/7/24			

# (参考) 地域幸福度 (Well-Being) 指標活用 1 Dayセミナー

- 目的：地域幸福度 (Well-Being) 指標の活用を検討している地方公共団体や関連団体に地域幸福度 (Well-Being) 指標の講義とワークショップを提供し、指標に触れていただくことで活用を促進する。
- 対象者：午前の部 どなたでも、午後の部 自治体職員
- 内容：午前の部 Well-Beingの考え方及び地域幸福度 (Well-Being) 指標についての講義  
午後の部 地域幸福度 (Well-Being) 指標を活用した自治体職員向けワークショップ

## ○開催実績及び予定 (令和5年度)



写真出所：浜松市

### 【参加者アンケート結果】

- 参加者の96%が役に立ったと回答
- 指標活用予定時期は、令和5年度が30%、令和6年度が60%、令和7年度以降が10%。
- 民間事業者の指標への関心度合いは、「複数事業者間での活用」、「自治体と連携した活用」が同数、次いで「社内での活用」であった。

	開催日時	開催場所	参加者等	参加人数
第1回	2023年10月22日 (日) 9:30~16:30	静岡県浜松市 SOU	デジタル採択団体 4団体 デジタル採択団体外 13団体 民間 6団体	午前：37人 午後：28人
第2回	2023年12月10日 (日) 9:30~16:30	神奈川県横浜市 市NANA Lv.	デジタル採択団体 2団体 デジタル採択団体外 8団体 民間 3団体 ※横浜市立大学との共催	午前：54人 午後：32人
第3回	2024年1月28日 (日) 10:00~17:00	福島県会津若 松市 スマートシティ AiCT	募集中	募集中
第4回	2024年2月4日 (日) 10:30~17:30	兵庫県神戸市 起業プラザひょう ご	募集中	募集中

# (参考) 地域幸福度 (Well-Being) 指標活用解説動画

- 地域幸福度 (Well-Being) 指標活用解説動画を新たに作成し、新サイト上で公開する。
- 対象者：スマートシティや地域のまちづくりの推進において、地域幸福度 (Well-Being) 指標の活用を考えている自治体幹部・職員

## ○解説動画

Vol.0 : 指標活用説明会

地域幸福度 (Well-Being) 指標  
活用説明会

令和 5年 5月 18日 (木) 13:00~15:00

デジタル庁

Vol.1 : 「特別対談編」 村上統括官と南雲岳彦氏の対談

一般社団法人スマートシティ・インスティテュート 専務理事  
南雲 岳彦

デジタル庁 統括官 国民向けサービスグループ長  
村上 敬亮

Vol.2 : 「指標分析編」確認テスト付

地域幸福度  
Well-Being 指標

カテゴリ別  
カテゴリー別

カテゴリー	指標	数値
暮らし・生活	健康・福祉	42.53
	教育・学識	58.25
	住宅環境	55.77
	移動・交通	60.35
	娯楽・娯楽	59.50
	子育て	52.49
	健康・中等教育	63.28
	環境行政	56.66
	デジタル生活	56.42
	公共空間	59.58
経済・産業	都市空間	59.58
	経済産業	67.09
	自然の恵み	54.62
	環境衛生	54.93
	社会公平	55.40
	健康・学識	60.96

Vol.3 : 「ワークショップ編」確認テスト付

会場イメージ ~ 4チーム (各4~6名) 程度、全体で30名以下がベスト

# デジタル実装タイプ1/2/3等：制度概要

**TYPESの詳細は  
年明け以降公開予定**

**目的** デジタルを活用した意欲ある地域による自主的な取組を応援し、「デジタル田園都市国家構想」を推進するため、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けた地方公共団体の取組を交付金により支援

**概要** デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上に向けて、以下の事業の立ち上げに必要な経費を単年度に限り支援  
 【TYPE1】他の地域等で既に確立されている優良なモデル・サービスを活用して迅速に横展開する取組  
 【TYPE2】オープンなデータ連携基盤を活用し、複数のサービス実装を伴う、モデルケースとなり得る取組  
 【TYPE3】(TYPE2の要件を満たす) デジタル社会変革による地域の暮らしの維持につながり、かつ総合評価が優れている取組  
 【TYPES】「デジタル行財政改革」の基本的考え方に合致し、将来的に国や地方の統一的・標準的なデジタル基盤への横展開につながる見込みのある地方自治体の先行モデル的な取組

**共通要件**  
 ①デジタルを活用して地域の課題解決や魅力向上に取り組む  
 ②コンソーシアムを形成する等、地域内外の関係者と連携し、事業を実効的・継続的に推進するための体制を確立

<TYPE別の内容>

<p><b>デジタル行財政改革 先行挑戦型 【TYPE S】</b></p>	<p>「デジタル行財政改革」の基本的考え方に合致し、国や地方の統一的・標準的なデジタル基盤への横展開につながる見込みのある先行モデル的な取組</p>	<p><b>事業費：5億円 補助率：3/4 + 伴走型支援</b></p>
<p><b>デジタル社会変革型 【TYPE 3】</b></p>	<p>下記いずれかを満たし、総合評価が優れているもの                  ・新規性の高いマイナンバーカードの用途開拓                  ・<b>AIを高度活用した準公共サービスの創出</b></p>	<p><b>国費：4億円 補助率：2/3</b></p>
<p><b>データ連携基盤活用型 【TYPE 2】</b></p>	<p>データ連携基盤を活用した、複数のサービスの実装を伴う取組</p>	<p><b>国費：2億円 補助率：1/2</b></p>
<p><b>優良モデル導入支援型 【TYPE 1】</b></p>	<p>優良モデル・サービスを活用した実装の取組</p>	<p><b>国費：1億円 補助率：1/2</b></p>

**＜対象事業（一例）＞**

**【TYPE2/3】**  
 複数分野データ連携の促進による  
 共助型スマートシティ（会津若松市）

**【TYPE1】**  
 書かない窓口      地域アプリ      遠隔医療

(注) 上記のほか、計画策定支援事業において、デジタル実装に取り組もうとする地域の計画づくりを支援し、地方創生テレワーク型において、サテライトオフィスの整備・利用促進等を支援。

詳細